

矢口あいさつ検定



<検定を希望される方は担任へこの用紙を提出ください>

標語

「日本一 心のあいさつ 矢口校」

目的 あいさつは、人と人とを暖かい心で結ぶ「幸せを分かちもの」、子どもたちがあいさつの基本を目標をもち、身につけられるようにするために、校内検定を行う。

検定方法 学級担任は、検定対象者のあいさつ内容ができていないと確認したら、検定用紙を用紙して、毎朝のあいさつ時等で管理職に検定を依頼する。

	級	検定内容	担任確認印	担任以外の先生印	校長審査印
			1週間のうち3回以上		
応用編	1級	あいさつの際に、気候や相手を気遣う態度や言葉をかけができる。			
	2級	入室の確認、入退室のあいさつ、仕事中的確認、感謝、お礼など、場面に応じたあいさつができる。			
	3級	語先後礼のあいさつができる。			
	4級	朝、昼、下校、夕方のあいさつ以外でも、「ただいま」「お帰りなさい」などの両者のあいさつができる。			
基礎編 自分自身	5級	校内で、学年以外の(友達)、先生、お客様にあいさつ(7級)ができる。			
	6級	相手の(名前)を呼んでからあいさつ(7級)ができる。			
	7級	自分から、立ち止まって(お辞儀、相手を見る、言葉、笑顔)のどれか3項目のあいさつができる。			
基礎編 視覚支援	8級	手本を人を見て(立ち止まる、お辞儀、相手を見る、言葉、笑顔)のどれか2項目のあいさつができる。			
	9級	手本の人を見て(立ち止まる、お辞儀、相手を見る、言葉)のどれか1項目のあいさつができる。			
基礎編 身体誘導支援	10級	先生に助けられて(お辞儀、相手を見る、言葉)のどれか1項目のあいさつができる。			